

OB、保護者、関係者の皆様へ

2017シーズン後期リーグ戦開幕に当たって

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
今シーズンも様々な形での蹴球部の活動に対するご支援、誠にありがとうございます。

トップチームにおいては、8月10日から13日まで中伊豆にて強化合宿を行い、チームのコンセプトを確認し強化してきました。8月から9月上旬に行われた練習試合でも、よい成果を得られることができております。チームとしてのまとまりを深め、徐々にチームに成ってきたという手応えは感じております。

「戻る」という夏の間の共通のテーマを掲げ、トレーニングしてきました。「戻る」という意味は、ボールを奪われたら戻るという意味はもちろんですが、戻ることによって攻撃の出発点が前向きになるということでもあります。またそうしたことを繰り返し全員が行うことによって、全体が自然にコンパクトになっているという意味もあります。「戻る」ということをテーマにしたということは原点に「戻る」ということでもあります。このテーマに沿って様々なトレーニングを行ってきましたが、選手たちは非常に真摯に取り組んでくれたと感じております。またミーティングの回数も格段に増やし、チームとしての共通理解をより深めています。

現在、4位という位置に付けておりますが、下位チームとの差はほとんどありません。そうした状況ですので、先に見えるゲームにすべく一戦一戦戦っていくしかありません。ポジティブなリーグ戦にできるよう頑張っていきたいと思っております。

夏の強化も終了し、いよいよ後期リーグ戦がスタートします。毎年のことですが、リーグ戦が終わって選手のみならず、関わっていただいたすべての人たちが良いシーズンだったと思えるようなシーズンにしたいと思っております。このチームで戦うことも、後11試合ということになりました。学生たちには一戦一戦を噛みしめながら戦いつつ、最後までこのチームを良くしようという意識を持ち続けてもらいたいと思っております。結果を出せるチームというのは、個人個人がチームを良くしていこうという意識を持てる選手が多いチームだと思いますし、そうしたことは見ていて下さる方々にも伝わるものです。ぜひ感動を共通できるようなゲームを展開して欲しいと思っております。

同時にB、CチームにおいてはIリーグ、サタデーリーグが引き続き開催されています。苦しい戦いが続いておりますが、こちらもご支援の程よろしく願い申し上げます。シーズン終盤に入り、チームで活動できる試合数は残り僅かになっております。学生たちにはしっかりとした歩みを止めないで、学芸大学でサッカーをしたということはどういうことなのかを自分で意味づけできるようにしてもらいたいと思っております。

11月まで残り2か月ほどになりました。あっという間でしたが、最後の2か月が最も重要です。本当のチームになれるか、全員で努力していきたいと思っております。

後期もご支援、ご声援の程よろしく願いいたします。

2017年9月15日

檜山 康